

第4学年 算数科指導案

日 時：

場 所：小学校 4年生教室

授業者：T1: T2:

1. 単元名「小数」

2. 単元の目標

(関) 小数も十進数であることの理解を深め、小数を正しく用いようとする意欲をもつ。

(考) 数直線をもとに小数の相対的な大きさの表し方を考える。

(技) 1/1000の位までの小数の表し方や大きさについて理解し、小数を用いることができるとともに、小数の加法と減法の計算ができる。

(知) 小数は、整数と同じ十進数のしくみで表されていることや、小数の各位の名称を知る。

3. 指導にあたって

(1) 教材観

この単元に関わって、学習指導要領には、以下のように、述べられている。

A(1) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。

イ 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

ウ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

〔算数的活動〕

ア 目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について適切に判断する活動

児童は、3年生で1/10の位までの小数の意味や加法や減法について学習してきている。本単元では、数範囲を1/1000の位まで拡張し、「小数のしくみの理解」と「小数の加法、減法」を扱う。本単元は、大きく3つの内容からなっている。

1つ目は、0.1に満たないはしたの量を表すために、3年生で学習した、はしたの量を表すために1を10等分した考えをもとに、1/10の位で出たはしたをさらに10等分して新しい単位を作ることである。既習内容とのつながりを意識させたい。

2つ目は、1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べ、小数が整数と同じように十進数のしくみになっていることを理解する。小数を相対的な大きさでとらえる大切な見方となるために、丁寧に扱いたい。方眼の図にそれぞれの大きさを表したり、数直線に表したりして、それぞれの位の大きさを量感をもってとらえるとともに、1/10や10倍になる関係を説明したりする算数的活動を行い、思考力・判断力・表現力を伸ばすようにしたい。

3つめは、小数の加法、減法である。形式的に計算のしかたを覚えこむのではなく、位をそろえて計算する理由を前時までの既習内容をもとに説明できるようにして理解を深めたい。

(2) 児童の実態(男子9 女子9人)

単元「小数」の準備テストの結果は、以下のようであった。(18人中)

問題のねらい	正答数	多かった誤答など
テープの長さを測る。(1.7m) 2mより何m短い。(0.3m)	16 8	3mと誤答。1めもりを0.1mでなく1mと誤ってとらえる。
小数の1/10の位の数字を問う。	10	5, 1, 51, 5.13と位の位置や題意を読み取れていない。
0.1をいくつかとらえる。	18 13	0.1を40こ集めた数を40, 10と誤答したり、0.1と題意を読み取っていないものがあるが、ほとんどが理解している。
2.8は□を2こと(1) 0.1を□こ集めた数(8)	11 16	一の位のもとなる1を答えないで、そのまま2と答えたり、10と答えている。
cm単位の小数をcmとmmで表す。	18	
dL単位のかさをL単位の小数で表す。	11	7や70と答え、大きさを正しく理解していない。
整数と小数を大きさで並べる。	16	
1.6+2.5 4-0.3 17.2+3.9 13.4-7.4	15 15 13 14	小数点を付け忘れている誤答が1人いる。 誤答の多くは、繰り上がりや繰り下がり計算の違いで間違えている。

この結果から、かさの単位を換算することが十分でない児童がいることが分かる。また、0.1のいくつかを問う問題では、1/10の位だけならできても、一の位の数になると正しくできない児童がいる。本単元の学習内容に関わる大切な内容なので、それぞれの時間に、3年生での学習内容とつなげて指導し、理解を深めるようにする。自分の考えを進んで発言しようとする姿勢が弱い児童、発言時の声も小さくなりがちな児童も多く、帰りの会などでの振り返りや、発言時の励ましを続けている。

4. 研究主題に関わって

(1) 思考力・判断力・表現力のとらえの明確化と、それを高めるための学習過程の工夫(研究内容)

本時の思考力・判断力・表現力を、次のようにとらえた。また、それらを高めるために手立てを次のようにする。

【判断力】

解決の見通しや解決の過程、その結論の正否を明確な根拠をあげて論理的・合理的に導き出す力

【思考力】

課題を結論に導く過程に働く、考えを進める数学的な考え方や、解決の手法としての数学的な考え方を活用して自分なりの結論を導き出す力

【表現力】

数学的な用語、記号などを用いて、問題の解決過程における考え方や処理の仕方や結果を分かりやすく表したり、説明したりする力

【本時の判断力】

- 小数の筆算では位をそろえて計算する既習内容につなげて、桁数の違う小数の加法の筆算のしかたを考えられること。
- 問題の1つ目の考え方と同じように、問題の2つ目を、筆算の手順に従って考えられること。

【本時の思考力】

- 既習の小数のしくみや計算のしかたを想起し、位をそろえて計算する小数の筆算のしかたやしくみをもとにして考えれば計算できそうだと解決の見通しをもてること。
- キーワード「位をそろえる」「終わりにつく0は消す」を使って、まとめを自分の言葉で書けること。

【本時の表現力】

- 自分なりの考えを、筆算や言葉の説明で表現できること。
- 順序だてて計算の手順を話す意識をもち、自分の考えを説明できること。

【判断力を高める手だて】

- 磨き合う場での判断をせまる場を位置付ける。→(4)

判断力を高める手立て(4)

- ・ 全体交流において、末尾をそろえる筆算を示し、誤りを見つけることで、理解が深まるようにする。

- 2つ目の問題を位置付け、そこから有効性の判断をし、一般化させる。→(5)

判断力を高める手立て(5)

- ・ 問題の2つ目でも、小数点をそろえることで位をそろえることができることを確かめることを投げかけてから取り組ませる。

【思考力を高める手だて】

- 既習を想起させ、比べること(似ていることや違うところ)で、解決方法を導き出せるようにする。→(1)

→(1)

思考力を高める手立て(1)

- ・ 前時に学習した、位ごとにたす小数の加法の考え方と位をそろえて計算する筆算のしかたを想起させ、位をそろえれば計算できそうだと解決の見通しをもたせる。

- 振り返りの場でのより確かな実感・納得へ導き出せるようにする。→(6)

→(6)

思考力を高める手立て(6)

- ・ 板書で、「位をそろえる」「終わりにつく0は消す」をキーワードとして確認する。

【表現力を高める手だて】

- 言葉や図、式で表現する活動を位置付け、考えを表現させる。→(2)

→(2)

表現力を高める手立て(2)

- ・ 個人追究で末尾をそろえた計算をしている児童には、位がそろっているか確かめるように助言する

- 数学的な表現を明確にする。また、ペア交流を位置付け、相手意識をもたせたり、相互評価させたりする。→(3)

→(3)

表現力を高める手立て(3)

- ・ ペア交流を位置付けて、筆算のしかたを相手に説明する時間を位置付ける。

(2) 内容の系統性を明確にした単元指導計画の作成(研究内容)

単元指導計画参照

(3) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習活動と評価の工夫のあり方(研究内容)

- 一単位時間の終末における指導の工夫

本時は、A:「知識・技能の定着を図ることに重点を置く授業」に位置付けている。技能の定着を図ることをめざして、十分に練習問題に取り組み、学習内容を確認にする活動を位置付けたい。P77 鉛筆問題2は桁数の異なる小数の筆算、P77 鉛筆問題3は、終わりの0を消す処理を求める問題である。どの児童も自力解決ができることを目指す。それぞれ問題が終わった児童は、用意してある答えを見て自分で答え合わせをする。その後、P.232 計算練習7に取り組み、教科書の解答を見て自分で答え合わせを行う。教師は、遅れがちな児童(NJ男・WH女)に、指導援助を行う。

- 実態把握から定着の弱さを補充する時間の位置付けの工夫

単元「小数」の準備テストの結果から、小数のしくみの理解や計算の技能が十分でない児童がいることが分かった。本単元の授業の中で、3年生の既習内容と結び付けて、理解を深めるようにする。また、それぞれの授業において理解が不十分な児童については休み時間などを使って一人一人のつまづきを把握した上で支援をする。

5 単元指導計画

第4学年「小数」全12時間

A:「知識・技能の定着を図ることに重点を置く授業」 B:「知識・技能を活用し,思考力・判断力・表現力などを育むことに重点を置く授業」

小単元 時	引き出す授業				
	1	2	3	4	5
ねらい	はしたの量を表すために1を10等分した考え方をもとにして,1/10の位で出たはしたをさらに10等分する活動を通して,1/100の位までの小数の表し方を考えることができる。	1m35cmを,mを単位にして表す活動を通して,○m○cmのような長さも,かさと同じように1/100の位までの小数で表したり,読んだりすることができる。	8649mをkmを単位にして表す活動を通して,長さをkm,重さをkgを単位にして1/1000の位までの小数で表したり,読んだりすることができる。	方眼の図に1,0.1,0.01,0.001の大きさを表したり,比べたりする活動を通して,1,0.1,0.01,0.001の大きさを量感をもってとらえ,小数も整数と同じように十進数のしくみになっていることを理解することができる。	42.195はどんな大きさの数がいくつ集まっているか表す活動を通して,小数も整数と同じように,十進位取り記数法の仕組みで表されていることを知り,1/1000までの小数を単位とする数のいくつ分と見て表すことができる。
授業展開	B	A	A	A	A
主な つまずき	はしたの量を表すために0.1さらに10等分することを思いつかない。	3m6cm=3.6mと0.1の位の空位を表記しない。	6403kg=6.43kgと空位を表記しない。	0.001の100倍,1000倍の数を誤って答える。	1/10,1/100,1/1000の位の数を言えない。
主な つまずき への 指導援助	はしたの量を表すために1を10等分した考え方を参考にして,0.1より小さいはしたを表せないか考えさせる。	1,0.1,0.01のそれぞれいくつ分か確認し,0.1が一つもないときの表し方を考えさせる。	前時の0.1が一つもないときの表し方を想起させる。	1,0.1,0.01,0.001の関係図をもとに,10倍,100倍,1000倍を考えさせる。	十の位や一の位の数を言わせて,小数の各位をいえるようにする。
主な 学習 活動	問題を提示する 1.3Lとはしたのある水のかさをLを単位にして表しましょう。 課題を確認する 0.1より小さいかさの表し方を考えよう。 個人追究をする ○はしたを表し方を説明する。 ○マス図のはしたの部分拡大して0.1を10等分したためりを見て考える。 確認すること ○0.1を10等分して0.01の単位をつくり,0.1Lの1/10は0.01Lと書いて,れい点れいーリットルと読むこと。 ○水のかさは,1L,0.1L,0.01Lそれぞれのいくつ分かを合わせて,1.32Lと書いて一点三二リットルと読むこと。 まとめる 0.1より小さいはしたは,0.1を10等分して小さい単位をつくり,0.01のいくつ分で表せばよい。 教科書P68 1 教科書P232 1	問題を提示する 1m35cmを,mを単位にして表しましょう。 課題を確認する 35cmをmを単位にするとどのように表すのか考えよう。 個人追究をする ○巻き尺の図や1mものさしを使って35cm表し方を考える ○10cm,1cmはそれぞれ何mと表せるか考える。 確認すること ○10cmは1mの1/10で0.1m,1cmは10cmの1/10で0.01mであること。 ○30cm=0.3m,5cm=0.05mになり,1m35cm=1.35mになること。 ○3m6cmの何十cmにあたる数がないため,0.1mの位は0と表し,3m6cm=3.06mであること。 まとめる ○m○cmのような長さもかさと同じように,0.1,0.01のいくつ分を見て,mを単位にして表せばよい。 練習に取り組む 教科書P69 2 教科書P232 2	問題を提示する 岐阜県と長野県を結ぶ恵那山トンネルの長さは8649mです。この長さをkmを単位にして表しましょう。 課題を確認する 0.001より小さいはしたの表し方を考えよう。 個人追究をする ○1000m,100m,10m,1mはそれぞれ何kmと表せるか考える。 確認すること ○100mは1000mの1/10で0.1km,10mは100mの1/10で0.001km,1mは10mの1/10で0.0001kmであること。 ○8000m=8km,600m=0.6km,40m=0.04km,9m=0.009kmになり,8649m=8.649kmになること。 まとめる 0.01より小さいはしたも,0.01を10等分して小さい単位をつくり,0.001のいくつ分で表せばよい。 練習に取り組む 教科書P69 3 教科書P232 3	問題を提示する 方眼の図に1,0.1,0.01,0.001の大きさを表そう。 課題を確認する 1,0.1,0.01,0.001はどんな関係が調べよう。 個人追究をする ○1,0.1,0.01,0.001の大きさを方眼の図に色を塗って表す。 ○1の1/10が0.1,0.1の1/10が0.01・・・と大きさの関係を説明する。 確認すること ○1の1/10が0.1,0.1の1/10が0.01,0.01の1/10が0.001なっていて,反対に10倍ごとに大きくなること。 ○1/10の1/10で1/100になり,さらに1/10で1/1000になっていること。 ○0.001の100倍は0.1,1000倍は1になること。 まとめる 小数も整数と同じように,1,0.1,0.01,0.001と1/10ごとに小さくなり,反対に10倍ごとに大きくなっている。	問題を提示する マラソンで走る長さの42.195は何を表しているのでしょうか。 課題を確認する 42.195のそれぞれの位の数字は,どんな大きさの数がいくつ集まっていることをあらわしているのでしょうか。 個人追究をする ○10,1,0.1,0.01,0.001がいくつあるか説明する。 確認すること ○40,2,0.1,0.09,0.005をあわせて42.195になること。 ○1/10の位は1,1/100の位は9,1/1000の位は5であること。 ○1/10の位を小数第一位というように,1/100の位は小数第二位,1/1000の位は小数第三位ということ。 まとめる 小数も整数と同じようにそれぞれの位の数がいくつ分あるかを表している。 練習に取り組む 教科書P72 1 2 教科書P232 4
	はしたを表すには,さらに小さな単位を作ればよいことに着目して考えている。[考え方]	長さの値について1/100の単位までの小数で表したり,読んだりすることができる。[技能]	長さや重さの値について1/1000の単位までの小数で表したり,読んだりすることができる。[技能]	小数も整数と同じように十進数のしくみになっていることを理解することができる。[知識]	1/1000の位までの小数を単位とする数のいくつ分と見て表すことができる。[技能]

小単元	引き出す授業		高めていく授業		
時	6	7	8	9 (本時)	10
ねらい	数直線をもとに 1.25 は 0.01 をいくつ集めた数が表す活動を通して、小数の大きさを 0.01 や 0.001 をもとにして相対的に表したり、大小を比較したりすることができる。	基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1.23+4.75 のような 1/100 の位までの小数同士のたし算の計算のしかたを説明する活動を通して、位をそろえて計算することに気づくことができる。	6.5 + 1.32 の筆算のしかたを考える活動を通して、小数点以下の桁数が異なる場合も位をそろえて計算する計算のしかたを理解し、答えの小数点以下の末位が 0 になる場合には末尾の 0 を消すことを知り、1/1000 の位までの小数の加法の計算が筆算で正しく計算することができる。	4.56 - 1.35 のような 1/100 の位までの小数同士のひき算の計算のしかたを説明する活動を通して、小数の減法も加法と同じように位をそろえて計算すればよいことが理解できる。
授業展開	B	A	B	A	A
主なつまづき	0.2 を 0.01 をもとにして表すことができない。	既習事項を使って、問題を解くことができない。	筆算の答えの小数点をうつことを忘れる。	末尾をそろえて書いてしまい、位をそろえて正しく計算することができない。	答えの末尾の 0 を消すことを忘れる。
主なつまづきへの指導援助	数直線や方眼の図を見て、0.01 がいくつあるか数えさせる。	教科書、ノート、掲示などで振り返り、問題の意味を確認する。	位をそろえて書き、整数と同じように計算し、上にそろえて小数点をうつという手順を繰り返し確認する。	同じ位同士を計算するため、小数点をそろえると位がそろうことを確認する。	ひき算のときも、たし算と同じように答えの終わりの 0 を消すことを確認する。
主な学習活動	問題を提示する 1.25 は 0.01 をいくつ集めた数でしょう。 課題を確認する 1.25 のような 1/100 の位までの小数は、0.01 をいくつ集めた数が考えよう。 個人追究をする ○ 1, 0.2, 0.05 は、0.01 をいくつ集めた数が、数直線を見て表す。 ○ 8.3, 8.25, 8.31 を大きい順に並べる。 確認すること ○ 0.1 は 0.01 を 10 こ、1 は 0.01 を 100 こ集めた数であること。 ○ 1, 0.2, 0.05 は、それぞれ 0.01 を 5 こ、20 こ、100 こ集めた数で、1.25 は、0.01 を 125 こ集めた数になること ○ 0.001 が 10 こで 0.01, 100 こで 0.1 になること。 ○ 数直線上に数を表したとき、右にある数ほど大きいこと。 まとめる 1/10 の位や一の位の数を 0.01 のいくつ分が見てあわせれば 0.01 がいくつ集まったか分かる。位の数を上の位から比べればどちらが大きいかわかる。 練習に取り組む 教科書 P 73 3 りんご 2	問題を提示する P74 の練習をしましょう。 課題を確認する 小数の仕組みについて学習したことができるか確かめよう。 個人追究をする ○ 答えを準備しておき、自己採点ができるようにする。 ○ 教科書の問題が確実にできた児童は、補充問題に取り組む。	問題を提示する 1.23kg の箱に 4.75kg のなしを入れます。全体の重さは何 kg でしょう。 課題を確認する 1.23+4.75 のような 1/100 の位までの小数同士のたし算の計算のしかたを考えよう。 個人追究をする ○ 0.01 をもとにして考える。 1.23 は 0.01 が 123 こ 4.75 は 0.01 が 475 こ たすと、0.01 が 598 こだから、5.98 ○ それぞれの位同士をたす。 一の位 1+4=5 → 5 1/10 の位 2+7=9 → 0.9 1/100 の位 3+5=8 → 0.08 だから、5.98 ○ 今までの筆算と同じように位をそろえて計算する。 確認すること ○ どの考えも、位をそろえて計算し、答えの小数点を忘れずにうつこと。 まとめる 1/100 の位の小数同士のたし算も、同じ位同士の数をたせばよい。筆算は、位をそろえて書き、整数と同じように計算し、上にそろえて小数点をうてばよい。 練習に取り組む 教科書 P 76 1 教科書 P 232 6	問題を提示する 6.5 + 1.32 の筆算をしよう。 課題を確認する けた数のちがう小数と小数のたし算の筆算のしかたを考えよう。 個人追究をする ○ 小数点をそろえ、位をそろえる。 6.5 + 1.32 7.82 ○ 末尾をそろえる。 6.5 + 1.3 2 1.9 7 位がそろっていないので間違い。 確認すること ○ 位をそろえて、整数と同じように計算すること。 ○ 小数点をそろえると、位がそろえられること。 ○ 答えの小数の終わりに 0 がついたときは、0 を消すこと。 まとめる けた数の違う小数のたし算も、位をそろえて計算する。小数の終わりが 0 になったら、消す。 練習に取り組む 教科書 P 77 2 3 教科書 P 232 7	問題を提示する 4.56km のハイキングコースを 1.35km 歩きました。残りは何 km でしょう。 課題を確認する 小数のひき算の筆算のしかたを考えよう。 個人追究をする ○ 小数点をそろえ、位をそろえる。 4.56 — 1.35 3.21 確認すること ○ たし算と同じように位をそろえて計算すること。 ○ 小数点をそろえ、位をそろえる。 8.26 — 4.76 3.50 末尾の 0 は消すこと。 まとめる 小数のひき算の筆算でも、たし算と同じように、位をそろえて計算し、答えの終わりの 0 は消す。 練習に取り組む 教科書 P 78 4 教科書 P 232 8
評価規準	数直線をもとに、小数の相対的な大きさの表し方を考えている。[考え方]	小数の大きさを 0.01 や 0.001 をもとにして表すことができる。[技能]	小数の加法の計算のしかたを既習事項をもとに考えている。[考え方]	けた数の異なる小数の筆算では、位をそろえて計算することができ、小数点以下の末尾の 0 を消すことができる。[技能]	1/100 の位までの小数の減法の計算のしかたを理解している。[知識・理解]

小単元	高めていく授業	生かす授業
時 ねらい	1 1 7.84-5.3 の筆算のしかたを考える活動を通して、桁数が不ぞろいな減法の計算しかたを理解し、1/1000 の位までの減法の計算を筆算でできる。	1 2 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。
授業展開	△	△
主な つまずき	末尾をそろえて書いてしまい、位をそろえて正しく計算することができない。	既習事項を使って、問題を解くことができない。
主な つまずきへの 指導援助	同じ位同士を計算するため、小数点をそろえたと位がそろうことを確認する。	教科書、ノート、掲示などで振り返り、問題の意味を確認する。
主な 学 習 活 動	問題を提示する 7.84-5.3 の筆算をしよう。 課題を確認する けた数のちがう小数と小数のひき算の筆算のしかたを考えよう。 個人追究をする - 末尾をそろえる。 $\begin{array}{r} 7.8\ 4 \\ -\ 5.3 \\ \hline 7.3\ 1 \end{array}$ 位がそろっていないので間違い - 小数点をそろえ、位をそろえる。 $\begin{array}{r} 7.84 \\ -5.3 \\ \hline 2.54 \end{array}$ 確認すること - 位をそろえて、整数と同じように計算すること。 - 小数点をそろえると、位がそろえられること。 - ひかれる数の末尾が書かれていなきときは末尾に 0 があるとして計算すること。 まとめる けた数の違う小数のひき算も、位をそろえて計算する。ひかれる数の終わりが書かれていないときは 0 として計算する。 練習に取り組む 教科書 P 79 5 教科書 P232 9	問題を提示する (教科書 P80) 課題を確認する まとめの練習をしよう。 個人追究をする - 答えを印刷準備しておき、自己採点できるようにしておく。 - 教科書の問題が確実にできた児童は、補充問題に取り組む。
評価規準	桁数が不ぞろいな減法の計算しかたを理解し、1/1000 の位までの小数の減法の計算を筆算でできる。[技能]	1/1000 の位までの小数の表し方を理解し、加法、減法の計算ができる。また、それを活用して問題解決をする。[技能]

6 本時のねらい

6.5 + 1.32 の筆算のしかたを考える活動を通して、小数点以下の桁数が異なる場合も位をそろえて計算する計算のしかたを理解し、答えの小数点以下の末位が0になる場合には末尾の0を消すことを知り、1/1000の位までの小数の加法の計算が筆算で正しく計算することができる。

7 本時の学習展開 (9 / 1 2)

過程	学 習 活 動	指導・援助
見 付 け る	1 6.5 + 1.32 の式から、桁数の異なるたし算の筆算の仕方を考えるという課題を見付ける。 6.5 + 1.32 の筆算をしよう。 ・前と同じところは、小数のたし算だということです。 ・違うところは、今日は2桁と3桁のたし算になっていることです。 ・答えは、およそ8ぐらいになりそうです。 けた数のちがう小数と小数のたし算の筆算のしかたを考えよう。	思考力を高める手立て(1) ・前時に学習した、位ごとにたす小数の加法の考え方と位をそろえて計算する筆算のしかたを想起させ、位をそろえれば計算できそうだと解決の見通しをもたせる。
考 え る	2 位をそろえて筆算をすれば、計算できそうだという見通しをもち、個人追究する。 $\begin{array}{r} 6.5 \\ + 1.32 \\ \hline 7.82 \end{array}$ $\begin{array}{r} 6.5 \\ + 1.32 \\ \hline 1.97 \end{array}$ あ) 位をそろえる。 ・小数点の位置をそろえて、1/10の位、1/100の位ごとに計算する。 い) 末尾をそろえる。 ・整数のたし算のときのように右側をそろえて計算する。 ・これだと、1/10の位、1/100の位をそろっていないので間違い。 ・ 小数のたし算では、同じくらい同士をたせばよかった。だから、筆算では位をそろえて計算すればよい。○のように数字の右側をそろえただけでは、位がそろわない。	表現力を高める手立て(2) ・個人追究で末尾をそろえた計算をしている児童には、位がそろっているか確かめるように助言する。
磨 き 合 う	3 全体交流をして、よりよい考え方を追究する。 ・ 位をそろえて計算する筆算のしかたを確かめ、位をそろえるための方法を考える。 けた数のちがう小数のたし算を筆算で計算できないかな。 位をそろえて計算すればよかったが、どうすれば位がそろうだろうか。 位をそろえるには、小数点をそろえればよい。	判断力を高める手立て(4) ・全体交流において、末尾をそろえる筆算を示し、誤りを見つけることで、理解が深まるようにする。
振 り 返 る	4 ペア交流を位置付け、自分の考えをより深める。 5 有効性の判断をして、一般化するための問題を位置付ける。 問題 5.74 + 2.6 を筆算で計算しましょう。 $\begin{array}{r} 5.74 \\ + 2.6 \\ \hline 8.34 \end{array}$ 繰り上がりがあっても、整数と同じように計算して、正しく小数点を打つ。 $\begin{array}{r} 0.571 \\ + 1.329 \\ \hline 1.900 \end{array}$ 答えの終わりに0がつくときには、終わりにつく0を消す。	表現力を高める手立て(3) ・ペア交流を位置付けて、筆算のしかたを相手に説明する時間を位置付ける。 判断力を高める手立て(5) ・問題の2つ目でも、小数点をそろえることで位をそろえることができることを確かめることを投げかけてから取り組ませる。 思考力を高める手立て(6) ・板書で、「位をそろえる」「終わりにつく0は消す」をキーワードとして確認する。
	6 筆算のしかたを確かめ、まとめる。 けた数の違う小数のたし算も、位をそろえて計算する。小数の終わりが0になったら、消す。 7 練習問題に取り組む。 ・教科書P77鉛筆問題2と3とP.232の7に取り組む。	評価規準【技能】 けた数の異なる小数の筆算では、位をそろえて計算することができ、小数点以下の末尾の0を消すことができる。 2つの計算方法を比較・検討する活動の中で、根拠を明らかにして、より論理的に考えることができる。 (行動力)